

1 児童の体力・運動能力等に係る現状

- ① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果では、男女とも多くの種目で全国平均を上回ったが、「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」等で全国・全道平均を下回った。
- ② 新体力テスト総合評価では、3つの学年で改善プランの目標を達成した。他の学年は目標まであと少し届かなかったが、体育でのサーキットトレーニング等の取組の成果が見られる。
- ③ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果や児童アンケート結果では、体育の授業が好きな児童が多い。
- ⑤ 少年団等で活動している児童もいるが、塩谷地区には少年団等の組織がなく、日常的に運動をしている児童は少ない。

2 児童の体力・運動能力等の現状から分析した課題

- ①前年度に比べ体力が向上しているが、柔軟性や全身持久力、跳躍力に課題が見られる。
- ②体育が苦手と感じる児童が一定数おり、体力や技術の向上を自ら確認させることで、運動の楽しさを実感させる必要がある。

3 学年ごとの目標（数値目標）

<体力・運動能力>

学年	目 標
1年	・新体力テストの総合評価「C」以上が75%以上
2年	・新体力テストの総合評価「C」以上が75%以上
3年	・新体力テストの総合評価「C」以上が75%以上
4年	・新体力テストの総合評価「C」以上が75%以上
5年	・新体力テストの総合評価「C」以上が75%以上
6年	・新体力テストの総合評価「C」以上が75%以上

<生活習慣・運動習慣>

学年	目 標
1年	・「体育の授業が好き」と回答する児童を80%以上
2年	・「体育の授業が好き」と回答する児童を80%以上
3年	・「体育の授業が好き」と回答する児童を80%以上
4年	・「体育の授業が好き」と回答する児童を80%以上
5年	・「体育の授業が好き」と回答する児童を80%以上
6年	・「体育の授業が好き」と回答する児童を80%以上

4 児童の体力・運動能力等に応じた具体的な取組

(1) 体育授業内での取組

- ①サーキットトレーニングを取り入れた体力向上の取組
- ②一人一台端末を効果的に活用した授業改善やなわとび実施による運動量の確保や内容の充実

(2) 体育授業以外の年間を通じた取組

- ①休み時間等における体育館やグラウンドでの遊びの奨励
- ②運動環境の整備

(3) 保護者や地域と連携した取組

- ①生活リズムチェックシート等を活用した生活習慣の改善
- ②家庭における体力向上の取組の啓発による運動習慣の育成

1校1実践 「チャレンジなわとび」

5 実施計画

年月日	計 画 内 容
R 6年	
4月	・体力向上改善プランの確認 ・体力向上に向けた課題の明確化と目標の設定 ・サーキットトレーニング等の取組（通年）
5月	・新体力テストの実施方法の確認 ・運動会
6月	○新体力テスト実施 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査実施
7月	・全学年の新体力テスト実施結果の集計 ・体力記録カードへの記入、保護者への周知 ・プール学習、海浜体験学習 ・児童・保護者アンケート、職員自己評価の実施
8月	○新体力テスト結果分析 ○体力向上改善プランの評価・改善 ・新体力テスト結果の共有と改善策の実施
9月	・望ましい生活習慣・運動習慣の確立に向けた取組 ・遠足
10月	・体育の時間を中心に、体づくり運動(持久力を高める運動等)を重点的に実施
11月	○新体力テストの課題となる種目を再度実施
12月	・生活リズムチェックシートの実施と保護者への啓発 ・児童・保護者アンケート、職員自己評価の実施・ ○再度実施した新体力テストの結果分析
R 7年	
1月	・望ましい生活習慣の確立に向けた取組 ・裏山でのスキー学習
2月	○保護者への調査結果の説明 ○体力向上改善プランの評価・改善 ・望ましい生活習慣・運動習慣の確立に向けた取組 ・天狗山スキー学習
3月	○新体力向上改善プランの作成

6 評価方法

(1) 体育授業内での取組

- ①全国体力・運動能力、運動習慣等調査と新体力テスト結果
- ②児童・保護者アンケート結果、職員自己評価結果

(2) 体育授業以外の年間を通じた取組

- ①全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
- ②職員自己評価結果

(3) 保護者や地域と連携した取組

- ①生活リズムチェックシート結果、児童・保護者アンケート結果
- ②全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果